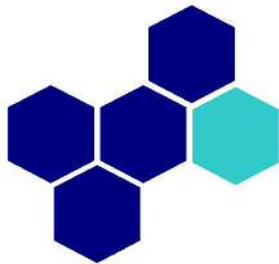


# 環境活動レポート



**Kameda & Co. Ltd.**

対象：全組織・全活動

期間：2015.4～2016.3

発行日：2016年6月17日  
(毎年 1 回発行)

亀田産業株式会社

## 組織の概要

社名 亀田産業株式会社  
所在地 栃木県宇都宮市川田町432番地  
代表者 取締役社長 亀田 清  
環境管理責任者 取締役社長 亀田 清  
連絡先 電話 028-656-3464  
従業員数 31名



## 事業活動の概要

航空部品・治具の製作（非金属材料を使用したハニカムコア加工等及び縫製加工）及び家具類の販売など比較的環境にやさしい業態です。特に家具部門では積極的に修理を進めて粗大ごみの減量に貢献しています。

事業の規模：敷地面積2500㎡

環境活動全組織・全活動対象としレポートは毎年1回作成します。

## 関連法規遵守状況

当社におきましては、昭和49年3月当地にて開業以来現在まで関連法規違反はございません。

## 亀田産業株式会社 環境方針

当社は、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、経営のあらゆる面で環境に配慮して行動する。

この理念の下、企画、設計、製造、サービスの経営全般にわたり環境を考慮し、以下の方針を以って継続して環境保全活動を推進する。

1. 当社の経営理念を踏まえ、当社の活動・製品・サービスの性質・規模及び環境影響に対して適切な環境経営システムを構築する。
2. 当社の事業特性が、環境に与える影響を的確に捉え、環境経営システムの継続的改善を図る。
3. 環境関連法規、条例及び受入れを決めたその他の要求事項を遵守し、汚染の予防に努め管理レベルの向上を図る。
4. 当社の環境側面に係る以下の項目を、環境保全の重要項目として優先的に取り組む。
  - ① 二酸化炭素排出量削減
  - ② 廃棄物排出量削減
  - ③ 総排水量削減
  - ④ 化学物質使用量の適正管理
  - ⑤ グリーン購入
  - ⑥ 自らが生産・販売・提供する製品及びサービスにおける環境負荷削減
5. この方針を達成するために、目標の設定と推進、教育・訓練の実施、代表者による見直しの実施等、文書化された環境経営システムを構築し、有効な施策を展開する。
6. この環境方針は全社員に周知するとともに、外部からの要求に対し開示する。

平成26年8月1日

亀田産業株式会社

取締役社長 亀田 清





# 2016年度環境目的・目標及び実施計画書

評価基準 X: 目標の達成度  
 ○: 80% ≤ X (但し通年では: 100% ≤ Xとする)  
 ×: X < 80% (但し通年では: X < 100%は是正対)

項目	環境目的	課題(何を)	具体的方法(どのように)	達成基準(どこまで)				責任者(誰が)	目標/実績	日 程 (いつまでに)												通年評価
				基準(BM)	目 標		目的			第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			
				2013年度	2014年度	2015年度	2016年度			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
省エネルギー	◆省エネルギー/二酸化炭素の排出削減	○電気使用量の削減kwh	目標使用量(単位:Kwh)	189,188	188,619	187,860	推	削減目標	208			417			625			833				
			CO2換算値*0.378(単位:Kg)	71,728	71,298	71,011			削減実績													
			削減率	99.7%	99.4%	99.0%																
削減目標絶対値(単位:Kwh)	1,898	569	759	削減実績																		
CO2換算値(単位:Kg)	0	215	287		削減実績																	
空調を必要な区域・時間に限定する	2,130	-20,700	833																			
消灯スイッチ確認,集中作業	187,627	208,327	207,494																			
省エネルギー	○化石燃料使用量の削減(ガソリンL)	目標使用量(単位:L)	3,765	3,754	3,727	推	削減目標	3			6			9			12					
		CO2換算値*0.0183*34.6(単位:Kg)	2,384	1,415	1,409			削減実績														
		削減率	99.7%	99.4%	99.0%																	
削減目標値(単位:L)	38	11	15	削減実績																		
CO2換算値(単位:Kg)	24	4	6		削減実績																	
集配配送,停車中エンジン停止	1,171	-286	12																			
操業度込削減量	2,594	2,880	2,869																			
省エネルギー	○化石燃料使用の削減(灯油L)	目標使用量(単位:L)	7,654	7,631	7,578	事	削減目標	5			9			14			18					
		CO2換算値*0.0185*36.7(単位:Kg)	5,197	2,876	2,864			削減実績														
		削減率	99.7%	99.4%	99.0%																	
削減目標値(単位:L)	77	23	31	削減実績																		
CO2換算値(単位:Kg)	52	9	12		削減実績																	
火力抑え目設定する,極力消す	3,538	-454	18																			
操業度込削減量	4,116	4,570	4,552																			
廃棄物削減	◆廃棄物削減/再資源化推進	○分別の徹底による再資源化m <sup>3</sup>	目標使用量(単位:m <sup>3</sup> )	83	83	82	推	削減目標	0.1			0.2			0.3			0.4				
			削減率	1%	99.7%	99.0%			削減実績													
			削減目標値(単位:m <sup>3</sup> )	0.8	0	0																
修理・再利用の促進	0.1	0	0	削減実績																		
粗大ごみは分解・分別して捨てる	-5	-10	0.4		削減実績																	
資源ごみの分別	88.2	98.0	97.6																			
操業度込削減量	88.2	98.0	97.6																			
省資源	◆水使用量の削減	○有効利用と節水の徹底m <sup>3</sup>	目標使用量(単位:m <sup>3</sup> )	52	52	51	事	削減目標	0.1			0.1			0.2			0.2				
			削減率	1%	99.7%	99.0%			削減実績													
			削減目標値(単位:m <sup>3</sup> )	0.5	0	0																
こまめに止水するよう喚起する	0.1	0	0	削減実績																		
水洗チェック	7	-5	0.2		削減実績																	
操業度込削減量	45	50	49.8																			
操業度込削減量	45	50	49.8																			
省資源	◆コピー用紙購入量の削減	○コピー用紙使用量削減・枚	目標使用量(単位:枚)	2,569	2,554	2,543	事	削減目標	2			3			5			7				
			削減率	1%	99.7%	99.0%			削減実績													
			削減目標値(単位:枚)	26	8	10																
チラシ等裏面の利用/文書の裏面利用	3	3	4	削減実績																		
両面コピーの促進	1,031	-170	7		削減実績																	
操業度込削減量	1,538	1,708	1,701																			
操業度込削減量	1,538	1,708	1,701																			
環境配慮	◆化学物質の使用量適正化	○支給される接着剤の使用量を把握し無駄な増加を防止する	スクラップ数目標数(単位:点)	0	0	0	推	目標	0			0			0			0				
			接着剤使用量はスペックで厳格に使用量が指定されているため、不具合によるスクラップによる廃棄をなくすことを目標とする	0	0	0		実績	0			0			0							
			低燃費車・工事目標数(単位:件)	1	0	0		事	目標	0			0			0			0			
グリーン購入促進として低燃費車への代替・照明のLED化及び2重サッシ等の断熱工事を進める	0	0	0	実績	0				0			0										
2016年度までに2013年度比1%削減	0.3%	0.3%	0.4%	推	目標	99.0%>=			99.0%>=			99.0%>=			99.0%>=							
活動継続性配慮	0.3%	0.3%	0.4%		削減実績																	
改善シート活用	0.3%	0.3%	0.4%																			
家具修理推進	0.3%	0.3%	0.4%																			
教育	◆環境教育の充実	○環境意識の高揚を図る	定期的に教育を実施する	2013/6/7	2014/6/6	2015/6/1	推	目標	1			0			0			0				
			社外情報などを社内報で水平展開する	2013/6/7	2014/6/6	2015/6/1		実績	1			0			0							
			2013/6/7	2014/6/6	2015/6/1																	
E M S 管理 責任者 コメント 欄								<コメント>	<コメント>	<コメント>	<コメント>	<コメント>	<コメント>	<コメント>	<コメント>	<コメント>	<コメント>					
上期	前年と同操業を前提として前年の0.4を削減する目標を設定。																					
	年度								日付: 2016/9/23	日付: 2016/12/26	日付: 2017/3/24	日付: 2017/5/24										
							作成: KK	作成: KK	作成: KK	作成: KK												

# 2015年度代表者による見直し記録

No. 20160603

発行日: 2016/6/3

1.代表者による見直し会議実施日時: PM3:00~4: 2016/6/3		承認	確認	作成
2.場所:事務所				
3.出席者:社長、工場長、事務局				
4.見直しのための情報				
①環境目的・目標に対する達成状況				
②環境マネジメントシステムの見直し結果				
③周囲の環境状況の変化に対応				
④利害関係者からの苦情及び関心事				
代表者による見直し記録		検討内容		
(1)「是正及び予防処置記録」にて指摘された不適合及びその是正並びに予防処置についての評価		紙、廃棄物、灯油において目標未達となったが原因として特定の事情が明確に識別されており、止むを得ない事情があったと認める。現実的な目標を設定し、引き続き削減努力を続ける点についてこれを妥当と認める。		
(2)環境目的・目標の適切性並びに環境パフォーマンスの達成度及び進捗度についての評価		目的及び目標の設定は具体的かつ妥当であり、パフォーマンス達成度及び進捗状況については妥当性を認める。		
(3)環境マネジメントシステムが下記の事項に照らして引き続き適切且つ有効であるか否かの評価				
1)環境関連法規の改正、廃止、新規制定等に関して		最新の環境関連法規に対する確認がなされており適切である。		
2)利害関係者の環境に対する感受性の変化に対して		該当する事項はなかった。		
3)新製品、新プロセスの導入及び組織の変更等環境管理活動の変化に関して		省電力タイプの空調、LED照明化及び太陽光発電の投資は有効であると認める。		
4)環境に関する科学上及び技術上の著しい進展に関して		該当なし。		
5)環境に関する事故、その他から学ぶことに関して		引き続き外部の情報を積極的に取り入れて水平展開を計っており適切且つ有効である。		
6)市場動向の変化に関して		売電に加えて家具類の修理や自然無公害塗装などの推奨を進めており適切である。		
7)環境に関わる報告、コミュニケーションの適切性に関して		従来より定期的に当社ホームページに方針掲載公表されておりコミュニケーションの適切性は維持されている。		
6.代表者からの是正処置要求事項: 環境管理システムは有効に機能していることを認める。中期削減計画の最終年度を迎えるに当たり、その活動を後退させることなく粛々と進めて目標を達成すること。				
7.見直し結果:当該年度期間について、大幅な操業度の増加という環境の中であって、水、ガソリン、電気使用量が目標を達成できたことは評価できる。電気では節電努力に加えて照明のLED化の推進が貢献したものといえる。一方、紙、廃棄物、灯油においては目標未達という結果となったが、当社の規模における使用量は実質的に限界に近い水準で経緯してきており、当面実情を見ながら適切な経済活動を損なわぬよう現実的な対応と目標設定を認める。厳しい顧客要求の中で成果を維持し、負荷削減に資することが出来ていた。今後も厳しい条件下ではあるが、現行の管理システムのもと、各部門には活動を継続し、目標の達成を期して一層の尽力をお願いしたい。				